

佐教文 第 5 号
令和8年4月27日

佐賀県知事
山口 祥義 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
理事長 檜崎 秀樹

令和7年度佐賀県少年自然の家（黒髪、波戸岬）の管理運営業務
事業報告書及び利用状況等について（報告）

このことについて、別添のとおり報告します。

【担当】公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
事務局長 山田
TEL 0955-82-5507

令和7年度

佐賀県波戸岬少年自然の家

管 理 運 営 業 務 報 告 書

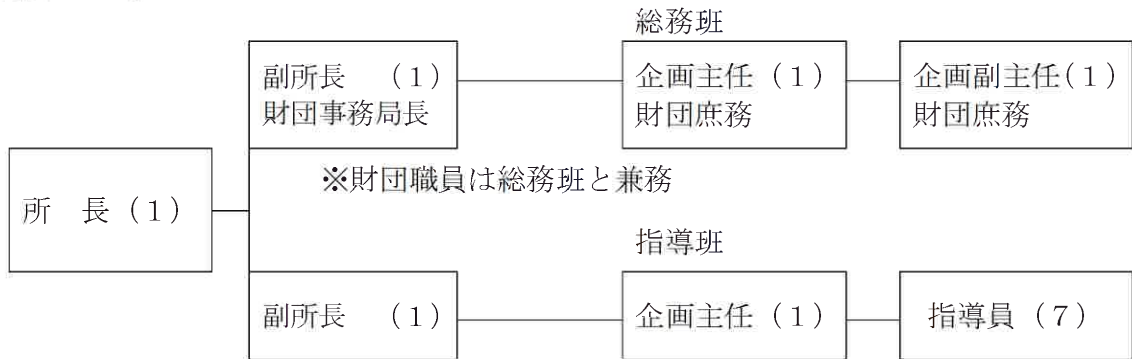
公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

第1 趣旨

この報告書は、佐賀県波戸岬少年自然の家の管理運営に関する協定書第21条第1項第1号に定める「管理運営業務の実施状況」について記載しているものである。

第2 管理運営体制

1 組織・人員配置



職員名簿及び事務分掌一覧

令和8年3月31現在

役職名	氏 名	住 所	事 務 分 掌	資格取得等	備 考
所 長			所業務の統括	教員免許 船舶2級	
副所長			財団事務局長・総務班の総括		財団事務局長
企画主任 (総務)			財団庶務・経理事務統括		財団事務員
企画副主任 (総務)			経理事務全般		財団事務員
副所長			所長の補佐・指導班の総括	教員免許、船舶2級 社会教育主事	
企画主任 (指導)			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許、船舶2級 無線3級、NEAL リーダー	
指導員			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	船舶2級 NEAL コーディネーター	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許、船舶2級 NEAL インストラクター	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許、船舶2級 無線3級、NEAL リーダー	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL インストラクター 船舶2級	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許、船舶2級 NEAL リーダー	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許 船舶2級	
//			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	船舶2級 NEAL リーダー	

2 職員の指導育成・研修体制

※ 外部研修等の実施状況

	月 日	研 修 名 及 び 内 容	会 場	参加人数
1	4. 8	小型船舶免許取得講習会	坂井海事事務所	2人
2	4. 12	小型船舶免許取得講習会	カヲフマリノ教習所	2人
3	8. 27	人権・同和問題研修会	メートプラザ	1人
4	8. 30～31	自然体験活動指導者養成講習（演習Ⅱ）	北山少年自然の家	1人
5	9. 6～7	自然体験活動指導者養成講習（演習Ⅱ）	北山少年自然の家	1人
6	10. 4	主催事業補助	北山少年自然の家	2人
7	10. 13	主催事業補助	黒髪少年自然の家	1人
8	11. 9	主催事業補助	アバンセ	2人
9	11. 24	主催事業補助	北山少年自然の家	2人
10	11. 24	主催事業補助	諫早青少年自然の家	2人
11	12. 11～12	九州地区青少年教育施設協議会	諫早青少年自然の家	1人
12	12. 12～14	自然体験活動指導者養成講習（概論Ⅰ）	北山少年自然の家	1人
13	1. 22～24	特別教育（玉掛け）講習	キャタピラー九州	1人
14	1. 26～29	自然体験活動指導者養成講習（概論Ⅲ）	オリンピック記念青少年総合C	1人
15	1. 28	第三級陸上特殊無線技士資格取得	メートプラザ佐賀	1人
16	2. 5	3施設合同研修会	波戸岬少年自然の家	8人
17	2. 24～26	特別教育（チェーンソー）講習	キャタピラー九州	3人
18	3. 13～14	特別教育（クレーン）講習	キャタピラー九州	2人

※ 内部研修、救命講習、消防訓練等の実施状況

	月 日	研 修 名 及 び 内 容	講師等	参加人数等
1	4. 1	職員研修：危機管理など各種マニュアル、新任研修	自 主	14人：職員
2	4. 2	職員研修：利用者対応、新任研修	自 主	10人：指導員
3	4. 4	カッター活動会議・指導方針協議	自 主	30人：職員 カッター指導員
4	5. 14	波戸の森安全管理研修	自 主	11人：指導員
5	6. 2	職員研修：児童ポルノ禁止法研修	自 主	14人：職員
6	6. 2	職員研修：主催事業検証	自 主	10人：指導員
7	7. 31	職員研修：交通事故防止研修	自 主	13人：職員
8	7. 31	職員研修：適応障害研修	自 主	13人：職員
9	9. 30	職員研修：避難訓練、消防訓練	自 主	17人：職員、清掃、メンテ職員
10	11. 15	職員研修：艇庫作業の安全管理研修	自 主	10人：指導員

11	12.1	職員研修：カッター活動意見交換会（反省）	自 主	29人：職員、カッター指導員
12	12.25	職員研修：草スキー場安全管理研修	自 主	9人：指導員
13	1.7	職員研修：艇庫作業の安全管理研修	自 主	9人：指導員
14	3.2	職員研修：避難訓練、消防訓練	自 主	17人：職員、清掃、メンテ職員
15	3.2	職員研修：人権・同和、ハラスメント研修	自 主	13人：職員

3 地元との連携

- ・本施設と「佐賀県立名護屋城博物館」、「玄海エネルギーパーク」、「玄海町次世代エネルギーパーク」「鯨組主中尾家屋敷」で「五施設連絡会議」を開催し、利用者増を図るための意見交換を行っている。
- ・提案型事業「のびのびのびっこ」では、地元のさつま芋農家と連携し、芋ほり体験、さつま芋を使った野外炊飯、焼き芋体験を実施した。地元農家の親切な対応のおかげで、参加者は地元の自然を堪能した。
- ・地域との連携方策として、地域行事へ参加するなど積極的に関わるようにした。提案型事業では、10月開催の「呼子花火大会」と提案型事業「いきいき HADO スクール」の日程を調整し、はどの森から見学したり、11月に開催の「石室猪ノ子祭」を「ファミリータイム inHADO」のプログラムの中に取り入れ、地元との連携を深めた。また、地元の打上地区活性化協議会主催の「たけのこ祭り」に参加協力し、地元及び参加者から高評価を得た。

第3 施設の運営に関する業務

1 休所日と施設点検日

- ・休所日は、年末年始（12月29日～1月3日）としており、令和7年度はそれ以外に職員研修のため、3月3日～4日を休所日とした。
- ・施設点検整備：毎月 of 当番者を決め、点検を行い必要なものは補修や整備を行った。

【業者による点検整備等の実施】※結果及び対応は別紙のとおり

- 自家用電気工作物・昇降機（毎月）
- 空調・衛生・電気設備（法令に基づく点検）
- 電話設備（年4回）
- 消防設備（年2回）
- 自動扉設備（年4回）等

【職員による点検整備等の実績】

毎月、担当及び当番職員による屋外と室内の施設・遊具の点検を実施

春から秋にかけての芝刈りは毎月3回以上実施

- 4月 周辺草刈、波戸の森環境整備、海岸整備、キャンプファイヤー場の整備
- 5月 芝生のメリケントキンソウ駆除、波戸の森点検整備、海岸整備、実習室整備等
- 6月 薪小屋整備・整頓、周辺草刈り・芝刈り、グラウンド除草等
- 7月 海中危険生物駆除、ホルト橋周辺草刈り、害虫駆除、波戸の森立木伐採等
- 8月 スリッパ消毒、海岸清掃、倉庫整備・整理、草刈り等
- 9月 艇庫周辺草刈り、薪切り、波戸の森環境整備、宿泊部屋カビ・ダニ対策等
- 10月 波戸の森環境整備、草スキー場整備、ナイトウォーク立札点検・整備等
- 11月 布団干し、施設遊具点検・整備等
- 12月 カッター整備、OLポスト整備塗装、炊飯場清掃等
- 1月 カッター整備、海岸清掃、宿泊棟・生活棟点検・整備等
- 2月 カッター整備、OL、WRコース清掃、炊飯場整備、海岸清掃等
- 3月 カッター・監視艇点検整備、カッター降ろし、遊歩道枝打ち等

2 利用団体支援事業

(1) 利用実績

延利用者数	延宿泊者数	（内免除者数）	実利用者数	実利用団体数	利用拒否等件数
42,901人	21,306人	972人	21,595人	542団体	0件

(2) 県内の学校の優先受付

受付期間	受付件数	受付総人数
4月～5月13日	93件	4,655人

(3) 活動プログラムの内容及び団体等への指導・支援

提示した活動プログラム内容で職員が指導したプログラム

①海洋海浜活動

【内容】カッター活動（支援）、魚釣り、シュノーケリング（支援）、磯ビンゴ

【支援】ライフジャケットの着用法、カッター座席の割振り、オールの持ち方や漕ぎ方、危険回避の方法等を指導、安全水域の確認、ゴーグルやシュノーケルの点検確認、監視等

②野外活動

【内容】オリエンテーリング（支援）、ウォークラリー（支援）、キッズポイントラリー（支援）、名護屋城歴史探検ウォークラリー（支援）、ナイトウォーク、アウトドアビンゴ（支援）

【支援】ウォークラリー等のねらい、活動場所の様子、地図の見方、チェックポイントなどについての助言やゼッケン・地図・コンパス・無線機等の貸し出し

③館内活動

【内容】インドアビンゴ（支援）、室内探検ゲーム（支援）、レクリエーション（支援）

【支援】ゲームの進め方、注意点等について説明・助言、引率者のゲームでの役割等説明

④交流・交歓

【内容】キャンプファイヤー（支援）、キャンドルのつどい（支援）

【支援】衣装やキャンドル等の道具の使用方法的指導や薪組み、キャンドルの配置等の支援

⑤アウトドア

【内容】野外炊飯（支援）、はどの森遊具遊び（支援）

【支援】薪割りの方法、火の燃やし方、包丁の扱い方、調理中の安全・衛生面について指導

⑥ニュースポーツ

【内容】グランドゴルフ（支援）、ソフトバレー、ペタンク

【支援】コースのセッティング、ルールの説明

⑦クラフト活動

【内容】焼き杉（支援）、プラホビー（支援）、ふくろうマグネット（支援）、ペーパーウエイト（支援）、ストーンアート（支援）、手すきハガキ（支援）、ガラスサンドアート（支援）

【支援】焼き杉等のクラフトで使う材料・道具を用意し、作り方の手順の説明、安全面、技術面の指導

⑧その他

【内容】フライングディスク、ドッチビー、長縄跳び、竹馬、一輪車、草スキー

※ 当施設が提示している活動プログラムの実施については、利用団体の要望の有無に関わらず、用具の貸出し・使用方法、活動の方法、危険予防などの指導を行っている。

また、団体からの要望があれば、できる限りの支援を行うことにしている。

※ 指導・支援については、事後の利用者アンケートで「職員の方がとても親切で、私たちのスケジュールを時間通りに進めることができました。カレー作りの際は、丁寧なサポートのおかげで土の班も失敗することなく、全員満足していました。」「子どもたちへのお褒めの言葉や励ましをいただいただけでなく、職員へも温かいお声掛けをくださりありがとうございました」など、指導へのお礼が多く寄せられた。反面、「事前打ち合わせの内容と変わっていたところもあり、時間を持て余した」「事前打ち合わせの内容が活動に反映されていなかった」などがあった。

調整・事前打ち合わせ・急な対応等の確認事項として

①朝会やメモを活用し、職員間での情報の共有を確実にする。

②引率者と指導内容の確認を行う。

③備品の更新等について確認する。 など、できる限り改善を図った。

また、指導班会議(月1回)で、前月の成功事例や失敗事例等を共有し指導員の資質向上に努めた。

(5) フィールドの開発・整備

・利用者であるスキューバダイビングスクール「エアー」様の協力のもと、海中清掃を行った。また、SDGsの取組の一つとして、利用団体に呼び掛けて海岸の清掃・整備を行っている。

3 主催事業・提案型事業

区分	事業名	期 日	対象者	募集 人数	参加 人数	効 果	ボランティ アの有無
提案型事業	波戸セミナー	4月25日	教職員 指導者 引率者	各回 15名	1団体 1名	参加する学校や団体の指導者に対して、各種プログラムの解説並びに実習を行い、活動の教育的効果を理解するとともに、実践的な指導力を身に付けてもらうことができた。	無
		7月4日			8団体 13名		
		8月6日 ～7日			5名		
					計19名		
	ボランティア セミナー	6月7日 ～8日	高校生 大学生 社会人	30名	39名	活動に必要な知識や技術を身に付けるとともに講演やグループ活動を通してコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	無
	いきいき HADOスクール	7月12日 ～13日	小学生 中学生 ※内容により 対象者を 変更	各回 50名	84名	異年齢集団の中での自然体験、生活経験を通して「生きる力」を養い、たくましい青少年の育成を図った。	有 6名
		10月11日 ～12日			24名		無
		2月14日 ～15日			41名		有 2名
					計149名		
	ファミリータイム inHADO	8月23日 ～24日	子ども とその 家族	各回 20家族 80名	38名	地元の自然に触れながら、家族の良さを再認識すると共に、家族間のコミュニケーションを大切にしながら、家族間の交流、親睦を図ることができた。	有 3名
		11月8日 ～9日			6名		無
					計44名		
	みんなで楽しむ 野外活動	6月15日	小中学生 とその 家族	各回 40名	31名	日帰りでの自然活動を行い、誰もが参加しやすく、様々な体験活動を通して、子ども同士や家族の交流を深めることができた。	無
		9月6日			10名		
					計41名		
事業	未来のエネルギー 広場	11月22日 ～23日	小学生 中学生	40名	13名	次世代エネルギーパーク「あすぴあ」の講師による実験やペットボトルロケット作製を行った。また、異年齢集団との交流も十分に果たすことができた。	無
	年末ふれあいプラン	12月27日 ～28日	子ども とその 家族	20家族 120名	51名	年末の日本の伝統文化のよさを体験しながら、家族内や他の家族間と楽しく交流を深めることができた。	無
	子育てセミナー		就学前 幼児小 中学生 家族	0名	0名	参加希望者が見込めないため中止した。	無
	のびのびのびっこ	7月6日	小中学生 とその 家族	各回 40名	35名	日帰りでの様々な自然体験活動を通して、子ども同士や家族の交流を深めることができた。	無
		10月26日			14名		
					計49名		

わくわくサークル	6月29日	成人	各回 10名	15名	大人を対象に地元の方を講師として招き、文化的な活動を通して、普段の生活をより豊かにし、参加者同士の交流を図ることができた。地域の大人の利用も可能であることの広報にも期待できる。	無
	12月6日			10名		
	2月7日			14名		
				計39名		
HADOの日	10月18日	全世代	制限なし	28名	施設を訪れた方に本施設や波戸地区の魅力を紹介し、利用促進につなげる。	無
ふれあいグラウンド ゴルフ大会	11月28日	成人	各回 120名	100名	波戸岬の豊かな自然の中で競技を行うことを通して、参加チーム相互の親睦と交流の輪を広げると共に、参加者の健康・体力づくりに寄与することができた。地域の高齢者の利用も可能であることの広報にもなっている。	無
	3月11日			72名		
				計172名		
波戸岬杯地域スポーツ交流事業	2月22日	佐賀近 県の中 学生	12チーム	169名	県内外の中学校に参加を募り、バレーボール大会を計画した。参加チームの技術の向上につながっている。	無
出前講座	通 年	全世代	制限なし	11団体 1997名	少年自然の家の活動プログラムを小学校・公民館・子どもクラブ等において実施し、多くの人に体験してもらおうと共に少年自然の家の利用を働きかけた。	無
参加者合計				2810名		

○事業のプログラムとして、地域行事や近傍施設でのイベントの活用

- ①提案型事業「いきいきHADOスクール」のプログラムとして見学。(呼子花火大会)
- ②提案型事業「ファミリータイム in HADO」のプログラムとして参加。(石室猪ノ子祭)

4 施設事業に係る広報・PR等

○所報、ポスターの作成状況

所 報 6月30日作成 (2, 500部)
ポスター 6月30日作成 (500部)

○県内利用者、冬季利用者の増加のための誘客活動の実施状況

①広報物の提供 (郵送)

年度当初 県内全小中学校及び高等学校、大学、教育委員会、公民館等に送付
6月 利用歴のある福岡の小・中・高校へ利用希望調査送付

②学校等訪問

学校や公民館、児童クラブ等に研修での利用や提案型事業への参加を広報。
教職員の研修や部活での利用を依頼。

- ・唐津市校長会 ・玄海みらい学園、玄海町教育長、玄海町放課後児童館・鎮西町老人会
- ・唐津市社会福祉協議会 ・唐津市公民館長会 ・鎮西、呼子公民館長会

【その他】 唐津市観光協会、唐津市子育て支援センター、唐津市近代図書館、唐津市グラウンドゴルフ協会、呼子中央こども園、昭和幼稚園、すみれ幼稚園、唐津カトリ

ック幼稚園、リョーユー幼稚園、浜崎幼稚園、伊万里老人クラブ連合会

③唐津観光協会へ加盟

5 食事の提供

- ・ 食堂経営については、令和3年度より「コンパスグループ・ジャパン株式会社」と契約している。
また、弁当については、地元の「まいづる百貨店」に提供してもらっている。
- ・ 食堂従業員への検便検査を毎月受診させ、食中毒の防止及び安全管理の徹底を行った。
- ・ 食事の提供30分前に検食し、食の安全確保に努めた。
- ・ 食物アレルギー等のある利用者に対しては、要望に応じた食事を提供した。
- ・ 食材は、可能な限り地元の食材を利用するよう、受託事業者に依頼した。
- ・ 利用者の要望・意見に対応するため、受託事業者との連絡会議（隔月）を実施し、改善を図った。

第4 施設の維持及び管理に関する業務

- 1 食事提供業務、建築物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務、環境衛生管理業務、廃棄物処理業務、衛生管理業務等の状況
別紙「令和7年度 波戸岬少年自然の家委託業務実績一覧」のとおり
- 2 当該年度に指定管理経費で購入した備品
該当なし

第5 令和7年度の料金体系

別添のとおり

○業者による点検整備の点検結果及び対応

点検事業名	点検状況	点検結果	対応状況
自家用電気工作物点検	通常点検 月1回 定期点検 年1回	特になし 高圧引込ケーブル老朽化	R8更新予定(県で予算化)
設備運転・点検業務 (空調・衛生。電気)	毎日、月1回、 年数回等	特になし、軽微なものは随 時対応	
電話設備点検	年4回	特になし	
消防設備点検	年2回	性能試験管不良(管理棟) 発信機不作動(野外炊飯場)	R8.3.30改修対応 R8.5.12改修対応
昇降機点検	月1回	法令上は問題ないものの、 老朽化のためリスクあり	
自動扉点検	年4回	特になし	
自家発電機点検	年2回	特になし	
無線電話設備点検	年2回	特になし	

令和7年度 波戸岬少年自然の家管理業務の委託について

区分	委託業務名	内容	契約の相手方	委託期間	契約金額
1	警備業務委託	機械警備(センサー)			
2	清掃業務委託	日常清掃 毎日1回以上各室、廊下、トイレ、浴室、体育館等の清掃			
3	設備運転等管理	常駐1名 ・衛生設備、空調設備、電気設備の点検管理、中央監視盤及び関連設備、建築物環境衛生管理			
4	電話設備保守点検	電話交換機一式 多機能電話機(7台) 一般電話機(25台)通常点検 年4回			
5	自家用電気工作物保守点検	毎月1回点検 受電設備容量 350kVA 予備発電機 35kVA×1台 太陽光発電 5.04kW×1台			
6	消防設備保守点検	消火器、自動火災報知設備、誘導灯、火災通報装置、屋内消火栓等を外観・機能点検と総合点検を年各1回実施			
7	污水处理施設保守点検・清掃業務	①污水处理施設点検 月2回以上 ②水質検査 年6回以上 ③沈殿分離槽汲取り等 年1回以上			
8	昇降機設備保守点検	エレベーター間接式遠隔監視 2基、保守点検 毎月			
9	非常用自家発電設備保守点検	自動発動発電設備、発電機用トランス盤保守点検 定期点検 年2回			
10	一般廃棄物収集・運搬	廃棄物の収集・運搬 ①可燃ごみ 週3回以上 ②資源ごみ 週1～2回 ③不燃ごみ(危険物) 随時			
11	無線電話設備保守点検	基地局1基、移動無線電話8基 定期点検年2回			
12	自動扉開閉装置保守点検	自動扉各部の汚れ清掃、作動状況調査、調整等 定期点検 年4回			
13	リネンサプライ及びクリーニング	シーツ等のリネンサプライ及び毛布・タオルケット等のクリーニングの単価契約			
14	食堂運営	利用者への食事の提供			
15	弁当調達	利用者への弁当の提供			
16	法面除草委託	少年自然の家法面除草 12,900㎡ 年2回程度			
17	受水槽清掃点検	清掃、滅菌、給水装置等の点検、調整等年1回実施			
18	カッタークレーン保守点検	天井クレーン2基の保守点検 年1回			
19	防火対象物定期点検業務	消防法第18条の2の2による防火対象物点検	特例施設の認定を受けたので、3年間定期点検は不要		
20	貯湯槽清掃	給湯用貯湯タンク清掃			
21	ティーマシーバー保守点検	レストラン内ティーマシーバー2台の保守点検			
22	食堂一般廃棄物収集・運搬	廃棄物の収集・運搬 ①可燃ごみ 週3回以上			
23	食堂害虫駆除	ネズミ・ゴキブリ等の防除・駆除			
24	食堂グリストラップ汚泥引抜	グリストラップの汚泥引抜 月1回			
25	リカバリーサービス業務	BASIC、UTM障害復旧、SVリカバリーサービス			
26	ホームページ改修委託	ホームページの項目追加			
27	建物定期調査業務	建物定期調査(自然の家) 艇庫 (3年毎)			
28	不要書類処分委託	倉庫等にある保存年限超過文書の処分			
29	床ワックスクリーニング委託	施設内床のワックスクリーニング作業			
30	窓ガラス・網戸清掃委託	施設内窓及び網戸の清掃作業			
31	廃棄物収集運搬処分委託	不要物品等の処分			

令和7年度 佐賀県波戸岬少年自然の家

(3月)

2026年4月3日 現在

1. 利用状況

	延 利 用 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 用 者 数
男	23,148	11,534	11,614
女	19,753	9,772	9,981
今年度計	42,901	21,306	21,595
開所以来合計	1,534,247	838,268	695,737

2. 類型別利用者数及び団体数 (%)

	園児	小学	中学	高校	大学	特別支援学校等	少年団体	青年団体	女性団体	家族	企業	指導者	成人	高齢者	出前講座	合計
実数	207	3,524	2,901	1,445	1,365	0	8,251	155	0	433	462	323	360	172	1,997	21,595
	1	16	13	7	6	0	38	1	0	2	2	1	2	1	9	100.0
団体数	6	70	23	23	18	0	172	5	0	48	43	100	21	2	11	542
	1	13	4	4	3	0	32	1	0	9	8	18	4	0	2	100.0
県内団体数	5	54	10	15	9	0	64	4	0	32	7	65	16	2	10	293

3. 宿泊日数別実利用者及び団体数 (%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊以上	合計
実数	4,355	13,480	2,771	848	97	44	0	21,595
	20	62	13	4	0	0	0	100.0
団体数	213	272	45	9	2	1	0	542
	39	50	8	2	0	0	0	100.0
県内団体数	136	140	13	4	0	0	0	293

4. 規模別利用団体数 (%)

	50人未満	50～99人	100～149人	150～199人	200～249人	250人以上	合計
団体数	416	73	22	15	6	10	542
	77	13	4	3	1	2	100.0
前年度 まで	10,741	2,362	901	462	259	169	14,894
	72	16	6	3	2	1	100.0
合計	11,157	2,435	923	477	265	179	15,436
	72	16	6	3	2	1	100.0

5. 月利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	29	357
利用状況	29	30	27	28	31	27	26	18	16	17	14	15	278
比率	97	97	90	90	100	90	84	60	57	61	50	52	77.9

6. 延利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5,279	6,236	3,147	5,880	5,281	4,100	3,200	2,740	1,774	1,283	1,266	2,715	42,901

7. 延宿泊者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,808	2,733	1,476	3,294	3,166	2,165	1,512	823	881	646	516	1,286	21,306

8. 実利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,471	3,503	1,671	2,586	2,115	1,935	1,688	1,917	893	637	750	1,429	21,595

9. 類型別実利用者数 (団体数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園 児	0 0	57 1	0 0	142 4	8 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	207 6
小 学	0 0	920 17	788 20	348 6	0 0	446 8	950 18	72 1	0 0	0 0	0 0	0 0	3,521 70
中 学	498 3	368 2	271 2	211 1	106 4	670 5	277 1	204 2	0 0	21 1	255 1	20 1	2,901 23
高 校	1,015 8	67 1	23 1	14 1	74 3	13 1	19 1	38 1	102 3	62 2	18 1	0 0	1,445 23
大 学	377 4	523 3	0 0	0 0	139 4	212 4	29 1	8 1	0 0	0 0	77 1	0 0	1,365 18
特別支援学校等	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
少年団体	436 9	490 12	348 7	1,539 39	1,605 27	481 11	315 11	272 10	668 9	451 12	369 11	1,277 11	8,251 172
青年団体	0 0	106 2	39 1	0 0	5 1	0 0	5 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	155 5
女性団体	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
家 族	42 5	44 11	43 5	85 8	57 5	40 1	41 4	17 3	51 1	0 0	2 1	11 1	433 18
企 業	30 4	35 4	0 0	122 4	66 5	30 4	21 3	21 3	54 5	67 7	10 3	6 1	462 43
指 導 者	72 32	33 12	52 10	73 17	50 12	13 5	1 1	2 1	8 3	7 2	2 2	10 3	323 100
成 人	1 1	175 5	107 5	28 2	5 1	0 0	11 0	0 2	10 2	6 1	17 2	0 0	360 21
高 齢 者	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	100 1	0 0	0 0	0 0	72 1	172 2
出前講座	0 0	685 1	0 0	21 1	0 0	30 1	19 1	1,183 5	0 0	23 1	0 0	33 1	1,997 11
合 計	2,471 66	3,503 71	1,671 51	2,586 83	2,115 63	1,935 46	1,688 44	1,917 28	893 23	637 26	750 22	1,429 19	21,595 542

10. 宿泊日数別実利用者数 (団体数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 帰 り	558 43	1,015 31	96 17	343 28	138 19	159 17	154 11	1,299 10	72 10	103 11	286 9	132 7	4,355 213
1泊2日	1,052 15	2,222 35	1,575 34	1,354 44	1,150 26	1,406 25	1,492 31	398 15	716 11	431 12	387 12	1,297 12	13,480 272
2泊3日	797 7	165 3	0 0	540 8	474 14	279 3	42 2	220 3	105 2	72 2	77 1	0 0	2,771 45
3泊4日	64 1	101 2	0 0	346 2	215 2	91 1	0 0	0 0	0 0	31 1	0 0	0 0	848 9
4泊5日	0 0	0 0	0 0	3 1	94 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	97 2
5泊6日	0 0	0 0	0 0	0 0	44 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	44 1
6日以上	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
合 計	2,471 66	3,503 71	1,671 51	2,586 83	2,115 63	1,935 46	1,688 44	1,917 28	893 23	637 26	750 22	1,429 19	21,595 542

11. 規模別利用団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
50人未満	51	49	38	68	51	33	35	22	15	25	18	11	416
50～99人	4	15	11	11	9	9	4	2	5	0	2	1	73
100～149人	5	2	1	1	0	1	4	1	3	0	1	3	22
150～199人	4	1	0	1	3	2	0	1	0	1	0	2	15
200～249人	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	6
250人以上	1	4	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	10
合 計	66	71	51	83	63	46	44	28	23	26	22	19	542

12. 年度別利用状況

	延利用者数	延宿泊者数	実利用者数	団体数	
平成11年度	42,123	21,530	20,593	619	
平成12年度	54,480	30,255	24,225	612	
平成13年度	54,767	31,043	23,724	546	
平成14年度	56,547	32,655	23,892	549	
平成15年度	60,403	36,706	23,697	502	
平成16年度	58,893	34,225	24,668	527	
平成17年度	61,932	36,196	25,736	526	
平成18年度	61,496	36,744	24,752	520	
平成19年度	59,486	34,442	25,044	491	
平成20年度	63,232	36,072	27,075	508	
平成21年度	63,636	36,404	27,116	498	
平成22年度	65,737	38,335	27,476	487	
平成23年度	70,259	40,428	29,712	473	
平成24年度	62,743	34,760	27,486	517	
平成25年度	58,235	31,020	28,045	612	
平成26年度	68,834	37,024	32,241	691	
平成27年度	73,265	39,270	33,732	719	
平成28年度	73,255	38,292	34,786	740	
平成29年度	78,158	41,710	36,292	742	
平成30年度	71,715	37,154	34,511	741	
令和元年度	66,905	35,826	30,958	732	
令和2年度	13,326	4,512	8,821	322	
令和3年度	27,925	11,966	15,959	478	
令和4年度	37,094	18,231	18,863	462	
令和5年度	43,356	21,680	21,676	633	
令和6年度	43,544	20,482	23,062	647	
令和7年度	42,901	21,306	21,595	542	
合計	1,534,247	838,268	695,737	15,436	

13. 出前講座利用状況

日付	団体名	人数
5月18日		685
7月12日		24
9月14日		30
10月5日		19
11月5日		14
11月9日		80
11月13日		14
11月24日		372
11月24日		703
1月17日		23
3月28日		33
合計		1,997

14. キャンセルの状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数 (宿泊)	8	7	4	7	17	17	9	8	3	3	2	10	95
実利用者数 (宿泊)	665	590	362	296	774	871	365	447	122	168	66	552	5,278
団体数 (日帰り)	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	5
実利用者数 (日帰り)	0	108	0	0	0	110	54	0	0	0	0	0	272
利用料金の 減収額	545,400	308,800	223,600	273,700	997,800	607,000	264,700	456,500	138,000	294,700	51,500	576,800	4,738,500

※利用料金（寝具代除く）の減収額については、概算でご記入ください。（宿泊：実利用者数×泊数×利用料金）（日帰り：利用料金×時間）

佐教文 第 11－2 号

令和8年 6月25日

佐賀県政策部

政策企画監 納富大介 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

理事長 檜崎 秀樹

令和7年度佐賀県波戸岬少年自然の家^〇の管理運営に係る

事業報告について(提出)

令和7年2月28日付けで締結した佐賀県波戸岬少年自然の家^〇の管理運営に関する
協定書第21条の規定により、別添のとおり提出します。

波戸岬少年自然の家

	項目	R 7 年度実績
収入	委託料	122,162,000
	利用料収入	15,528,900
	その他の事業収入	1,896,400
	カッター活動料収入	678,000
	クラフト教材費	992,400
	キャンドル、キャンプファイヤー代	226,000
	雑収入(自販機・公衆電話等)	508,838
	受取利息	91,277
	計	140,187,415

支出	人件費	報酬手当	0
		給与手当	46,614,379
		福利厚生費(健診料含む)	7,154,069
		労働保険	
	計		53,768,448
	退職給与引当金		1,590,422
	施設管理受託事業	外部委託費	39,401,940
		修繕費	1,809,013
		その他受託事業費	20,367,826
	事業費	利用団体支援事業	3,897,476
		広報事業	208,900
	計		65,685,155
	消費税等		6,551,259
	合計		127,595,284

(一般会計)
(佐賀県委託金収入)

R7年度 事業収入

月日	黒髪	波戸岬	調査研究事業		委託金計	合 計
5月30日		32,983,740				
8月19日		32,983,740				
11月18日		32,983,740				
2月19日		23,210,780				
		122,162,000	0			

(一般会計)**R7年度 利用料収入**

黒髪少年自然の家		黒髪 計	波戸岬少年自然の家		波戸岬 計	利用料 収入合計
月日	利用料収益		月日	利用料収益		
4月			4月	2,197,700	2,197,700	
5月			5月	2,016,100	2,016,100	
6月			6月	915,400	915,400	
7月			7月	2,373,400	2,373,400	
8月			8月	2,569,500	2,569,500	
9月			9月	1,568,000	1,568,000	
10月			10月	967,900	967,900	
11月			11月	515,200	515,200	
12月			12月	617,500	617,500	
1月			1月	517,000	517,000	
2月			2月	400,300	400,300	
3月			3月	870,900	870,900	
計				15,528,900	15,528,900	

(一般会計) R7年度 事業収入 (提案型)

[illegible]

(一般会計) R7年度 事業収入 (提案型)

[illegible]

(一般会計)

令和7年度 その他の事業収益

黒髪少年自然の家					黒髪計	波戸岬少年自然の家						波戸岬計
区 分	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費	食事代 弁当代		区 分	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費	カッター活 動	食事代 弁当代	
4月						4月	0	0	8,200	63,000		
5月						5月	17,000	9,000	111,850	198,000		
6月						6月	35,000	8,000	130,700	99,000		
7月						7月	17,000	19,000	138,650	42,000		
8月						8月	6,000	21,000	116,700	3,000		
9月						9月	12,000	13,000	101,100	129,000		
10月						10月	27,000	10,000	58,950	144,000		
11月						11月	5,000	12,000	36,050	0		
12月						12月	3,000	3,000	236,400	0		
1月						1月	3,000	6,000	4,300	0		
2月						2月	0	0	0	0		
3月						3月	0	0	49,500	0		
計						計	125,000	101,000	992,400	678,000		
							1,218,400					
							1,896,400					

1 収入積算内訳

		計画額		実績額
項 目	金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
1 県委託料	122,162	122,162,000 円 × 1 式	122,162,000	122,162,000
2 利用料金	16,753			
〈施設利用料〉	16,753			
(1) 寝具代		600 円 × 21,530 人	12,918,000	12,159,600
(2) 高校生・大学生・教員等		300 円 × 5,654 人	1,696,200	1,611,600
(3) その他		700 円 × 2,914 人	2,039,800	1,666,000
(4) 日帰り		200 円 × 497 時間	99,400	91,700
小 計			16,753,400	15,528,900
3 その他	1678			
(1) カッター	900	3,000 円 × 300 人	900,000	678,000
(2) クラフト等事業収入	743			1,218,400
・クラフト教材費		700,000 円 × 1 式	700,000	
・コピー代		600 円 × 12 月	7,200	
・キャンドルサービス		1,200 円 × 30 回	36,000	
(3) 受取利息	0			91,277
(4) その他（目的外等）	35			508,838
公衆電話手数料		220 円 × 12 月	2,640	
自販機光熱料		8,100 円 × 4 回	32,400	
小 計			1,678,240	2,496,515
合 計	140,593		140,593,640	140,187,415

令和7年度波戸岬少年自然の家委託料受入実績

	委託料計	1/4半期	2/4半期	3/4半期	4/4半期
人 件 費	63,101,000	17,037,270	17,037,270	17,037,270	11,989,190
施設管理・事業費	59,061,000	15,946,470	15,946,470	15,946,470	11,221,590
合 計	122,162,000	32,983,740	32,983,740	32,983,740	23,210,780
う ち 消 費 税	11,105,636	2,998,524	2,998,521	2,998,521	2,110,070

2 施設維持管理経費内訳

			計画額		実績額
項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
1	賃金	160			48,000
	臨時雇賃金		8,000 円 × 20 日	160,000	
				160,000	48,000
2	会議費	22			0
	来客用茶葉代		22,000 円 × 1 式	22,000	
				22,000	0
3	旅費交通費	300			50,301
	(1) 県外出張旅費		180,000 円 × 1 式	180,000	
	(2) 県内出張旅費		120,000 円 × 1 式	120,000	
				300,000	50,301
4	通信運搬費	810			475,712
	切手類購入費		22,000 円 × 1 式	22,000	
	郵便料（ゆうメール）		22,000 円 × 12 月	264,000	
	電話料		27,500 円 × 12 月	330,000	
	インターネットプロバイダー		11,000 円 × 12 月	132,000	
	レンタルサーバー		5,203 円 × 12 月	62,436	
				810,436	475,712
5	消耗品費	8,586			2,500,144
	消耗品他購入費		427,400 円 × 12 月	5,128,800	
	寝具類購入費		3,457,000 円 × 1 式	3,457,000	
				8,585,800	2,500,144
6	修繕費	4,366			1,809,013
	自動車修繕費		30,500 円 × 1 式	30,500	
	建物修繕費		500 円 × 6,591 ㎡	3,295,500	
	運動場改修費		100,000 円 × 1 式	100,000	
	カッター維持修繕費		500,000 円 × 1 式	500,000	
	設備等修理費		440,000 円 × 1 式	440,000	
				4,366,000	1,809,013
7	印刷製本費	231			131,056
	コピー代		19,250 円 × 12 月	231,000	
				231,000	131,056
8	燃料費	4,136			4,078,129
	灯油代		129.25 円 × 32,000 ㍓	4,136,000	
				4,136,000	4,078,129
9	水道光熱費	11,071			10,004,919
	電気料		8,614,564 円 × 1 式	8,614,564	
	電気料（艇庫）		203,940 円 × 1 式	203,940	
	上下水道料		2,211,165 円 × 1 式	2,211,165	
	上下水道料（艇庫）		40,810 円 × 1 式	40,810	
				11,070,479	10,004,919
10	使用料及び賃借料	1,467			1,635,420
	会計システム使用料		117,040 円 × 12 月	1,404,480	
	テレビ受信料		19,000 円 × 2 台	38,000	
	電波使用料		9,600 円 × 1 式	9,600	
	プリンター使用料		14,916 円 × 1 式	14,916	
				1,466,996	1,635,420
11	保険料	172			179,180
	自動車自賠責保険料		21,000 円 × 1 式	21,000	
	全少連賠償責任保険料		54,690 円 × 1 式	54,690	
	自動車任意保険料		96,740 円 × 1 式	96,740	
				172,430	179,180

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
12	報償費	450			388,717
	会計指導費		450,000 円 × 1 式	450,000	
				450,000	388,717
13	租税公課	24			0
	自動車重量税		24,000 円 × 1 式	24,000	
				24,000	0
14	負担金	8			33,000
	全少連九州協議会負担金ほか		7,500 円 × 1 式	7,500	
				7,500	33,000
15	委託費	39,889			39,401,940
	清掃業務		12,182,280 円 × 1 式	12,182,280	
	設備運転管理		8,470,000 円 × 1 式	8,470,000	
	污水处理施設保守		2,172,940 円 × 1 式	2,172,940	
	警備業務		1,914,000 円 × 1 式	1,914,000	
	昇降機保守		1,306,800 円 × 1 式	1,306,800	
	除草委託		1,345,804 円 × 1 式	1,345,804	
	ゴミ収集運搬		1,009,800 円 × 1 式	1,009,800	
	電気工作物保守		450,120 円 × 1 式	450,120	
	無線機保守点検		387,200 円 × 1 式	387,200	
	消防設備保守		225,500 円 × 1 式	225,500	
	非常用自家発電機保守点検		210,540 円 × 1 式	210,540	
	電話、自動ドア等保守委託		2,175,493 円 × 1 式	2,175,493	
	I T保守委託		18,920 円 × 12 月	227,040	
	寝具クリーニング委託		647,333 円 × 12 月	7,767,996	
	給与システム保守委託		43,200 円 × 1 式	43,200	
			円 × 1 式	0	
			円 × 1 式	0	
				39,888,713	39,401,940
16	支払手数料	1,040			838,248
	簡易水道法定検査料		17,600 円 × 1 式	17,600	
	浄化槽法定検査料		17,000 円 × 1 式	17,000	
	浴槽水（レジオネラ菌）検査料		34,100 円 × 2 回	68,200	
	ばい煙検査料		50,600 円 × 2 回	101,200	
	振込手数料		410,000 円 × 1 式	410,000	
	無線関係手数料		126,000 円 × 1 式	126,000	
	小型船舶受講料		300,000 円 × 1 式	300,000	
				1,040,000	838,248
17	支払寄付金	0			5,000
				0	5,000
合 計		72,732		72,731,354	61,578,779

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
	人件費				
	給与手当	48,441	48,440,828 円 × 1 式	48,440,828	46,614,379
	福利厚生費	8,923	8,922,442 円 × 1 式	8,922,442	7,154,069
	租税公課	5,737	5,736,327 円 × 1 式	5,736,327	6,551,259
	退職給付費用				1,590,422
	合 計	63,101		63,099,597	61,910,129

123,488,908

令和7年度 佐賀県波戸岬少年自然の家 収支報告書

(様式2-4)

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
3	利用団体支援事業	4,537			
	① 旅費交通費	78			78,000
	県内出張旅費		1,200 円 × 65 人	78,000	
	② 通信運搬費	1			0
	切手等購入費		1,000 円 × 1 式	1,000	
	③ 消耗品費	865			865,000
	消耗品購入費		865,000 円 × 1 式	865,000	
	④ 燃料費	148			136,736
	ガソリン代（公用車・監視艇）		173.8 円 × 850 台	147,730	
	⑤ 保険料	235			266,040
	カッター賠償保険料		10,680 円 × 13 人	138,840	
	カッター指導員傷害保険料		7,440 円 × 13 人	96,720	
	⑥ 報償費	3,210			2,551,700
	カッター指導員（3時間単位）		3,210,000 円 × 1 式	3,210,000	
				4,537,290	3,897,476
項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
4	広報事業	223			
	① 印刷製本費	113			108,900
	所報（1000部）		55,000 円 × 1 式	55,000	
	主催事業（ポスター）（400部）		44,000 円 × 1 式	44,000	
	主催事業（チラシ）（800部）		13,200 円 × 1 式	13,200	
	② 広告料	110			100,000
	さがPTA新聞		110,000 円 × 1 式	110,000	
				222,200	208,900
合 計		4,760		4,759,490	4,106,376

令和7年度修繕費一覧

波戸岬少年自然の家

	区 分	契約額	業者名	完了日
1	芝刈機修理	9,650		4月11日
2	宿泊棟2F 男子トイレ取手修理	49,445		5月1日
3	管理棟横タイル補修	291,610		7月3日
4	HADOの森伐木及び補修作業	253,000		7月31日
5	芝刈機修理	6,600		6月28日
6	艇庫シャッター修理	89,100		8月18日
7	艇庫ボックスメッキ加工補修	6,160		7月22日
8	ゴミ集積所補修	2,640		7月26日
9	艇庫取付階段補修	50,000		9月10日
10	宿泊棟（108号）床補修	17,600		9月12日
11	浄化槽電磁弁・配管取替	115,720		10月10日
12	ろ過器配管水漏れ修理	136,400		10月1日
13	監視艇船外機整備補修	99,000		2月17日
14	フィット12カ月点検整備	22,715		2月21日
15	浄化槽スカムスキマー修繕	102,520		2月27日
16	浄化槽ミニリレーランプ取替修理	43,450		3月6日
17	艇庫男子トイレ便器取替修理	401,203		3月7日
18	屋外トイレウォールボックス取替修理	13,200		2月13日
19	屋内消火栓設備改修	99,000		3月30日
	小 計(指定管理業務に係るもの)	1,809,013		
20	ADバン車検整備	58,300		8月26日
21	軽トラ（キャリア）点検整備	15,356		2月27日
	小 計(指定管理業務に係るもの)	73,656		
	合 計	1,882,669		

令和7年度 佐賀県 波戸岬少年自然の家 管理運営業務評価表

評点　；　5:十分　4:ほぼ十分　3:どちらともいえない　2:やや不十分　1:不十分

	評 価 の 観 点	数 値 目 標 実 績	実 践 事 項		評点	評 価 基 準	課 題 ・ 改 善 点	
1. 少年自然の家の施設の平等の確保								
	①生活弱者への配慮	・生活弱者への配慮等の対応はできたか。	100%	100%		・生活保護を受けている要保護、準要保護の児童及び生徒に対し、施設使用料免除の措置を行っている。 ・管理棟、生活棟のエレベーター、状況に応じたスロープの設置等を行っている。 ・障害者等の駐車スペース（パーキング・パーミット）を確保している。 ・必要に応じて小浴場の使用を許可している。 ・申し出による車椅子（2台）の貸し出しを行っている。 ・障害者手帳に代わるものとしてミライロID（スマホアプリ）を利用可としている。 ・障害者団体の宿泊及び研修では、生活棟の活用や用具の配置換え、また、他団体との細かな配慮等、利用者の利便性を図っている。 ・障害を理由とする差別の解消を推進するため「対応要領」や「対応指針」を作成し、職員間での共通理解を図った。 ・自動翻訳機、筆談機を備えている。	5 5…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。施設設備などは、身体障害者等に対応できるものとなっている。 4…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。 3…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。 2、1…上記3の対応の全部又は一部を行わなかった。	・障害者団体の宿泊、研修では、生活棟の活用や用具の配置換えなどにより、これまで以上に利用者の利便の向上を図る。また、多様な児童への対応のために、部屋割りやクールダウン用の部屋の確保など考慮する。 ・障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、身体障害者等のニーズをより掴む努力をする。また、障害の状況について、カッター指導員を含めて職員間で共通理解を図り、配慮ある対応を心がける。 ・SDGS3『すべての人に健康と福祉を』の取組としてのさがスタイルを意識しながら対応していく。
	②公平な利用計画	・利用申込み及び施設利用の公平性は図られたか。	100%	100%		・新年度予約受付は、優先順位を設けて適正に処理した。 ・使用申込書の提出は、期限である利用日の1か月前の提出を守ってもらい、その後の変更については、臨機応変に対応した。 ・複数の利用団体がある場合は、宿泊室、研修室や体育館の割り振り、食事や入浴の時間等で、事前調整を丁寧に行い了承を得ている。また、団体数や貸切等に応じて宿直人数も増やしている。	5 5…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はなかった。 4、3…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はほとんどなかった。 2、1…上記の対応の全部又は一部を行わなかった。	・日毎の調整プログラムを作成する際、活動場所や活動時間等を細かく調整し、了解を得るまで連絡を密にする。 ・団体の当日の急な要望についても、他の利用団体の了承を得るなど丁寧な調整を行う。 ・利用団体数が多い場合は、研修内容を把握した上で受け入れの判断をする。 ・県内学校の予約を優先して入れた後に、毎年複数泊で利用してもらっている団体にも利用希望調査をける。
2. 少年自然の家の施設の効用の最大化								
①利用者の意見の反映								
	・利用者の意見の把握	・利用者に対して、入所時にアンケート用紙を配布したか。また、その回収はできたか。	配布：100% 回収：95%	配布：100% 回収：84%		・受付の際にアンケートを配布し、退所時の回収チェックを行い漏れがないようにしている。また、退所を急がれている団体には、スマートフォンによるログフォームでの回答もできるようにしている。 ・322団体中、271団体回収（回収率84.2%） ・本所のメインプログラムの一つであるカッター活動における利用者の意見を把握するためにカッター活動のアンケートを実施するようにした。	4 5…アンケートの回収率が100%、4…80%以上、3…50%以上、2…回収率30%以上、1…30%未満	・アンケート回収率を上げるため、入退所時に提出の声かけをする。また、回収率を上げるためにホームページからも回答できるようにした。 ・アンケート回答が未提出の団体に対しては、退所後1週間で連絡して回答をお願いする。 ・アンケートによる回答は責任者のみの意見となりがちなので、団体の幅広い利用者との雑談からも情報を収集するように心掛ける。
	・利用者意見の反映	・利用者意見や要望等について、速やかに対応できたか。	95%	90%		・対応が必要な案件については、詳細を聞き取り可能な限り対応できるようにしている。 ・アンケートを回覧し、全職員で情報共有している。特に、人的なミスについては、指導班会議や毎日の朝会ででの改善方法を確認し再発防止に努めている。	4 5…全ての意見・要望に対応した。4…経費面で対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。3…経費面で対応できないものを除き、ほとんどの意見・要望に対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・職員で対応できる案件については、速やかに対応を実施した。 ・団体との調整事項を職員全体で確実にシェアリングするために、書類への書き込みや口頭による伝達の徹底と朝会等の活用、指導班会議における事例把握と解決方法の確認を一層図る必要がある。
	・参加者満足度	・参加者の反応は、満足いくものであったか。	90%	99%		アンケートでは、「研修目的の達成度」「施設・設備の状況」「施設を利用しての満足度」について「とても良かった」「良かった」の評価を99%の団体からいただいた。	5 5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上 4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	「職員の対応」「施設のきれいさ」「プログラムの充実」を大切にして、今後も満足度100%を目指していきたい。また、施設利用者と地域との交流人口を増やすためにも人的物的な資源の活用を進めていきたい。
②主催（提案型）事業								
	・参加者目標数の達成	・募集定員を確保することができたか。	90%	75%		・募集定数1,045人に対して参加者785人であった。 ・ファミリー向けや小中学生対象の宿泊を伴う野外活動やクラフトの他、閑散期の利用拡大のための成人向けの活動や、平日に高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会等の日帰り事業を実施した。	3 5…参加者目標の達成率100%以上、4…85%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・学校や公民館、図書館等の社会教育施設に直接チラシを配布し、参加要請を行う形で効果をあげてきてきたが、今後、メディア等での情報発信にも力を入れていきたい。また、広報の開始時期を早めるようにする。 ・開催時期や内容により参加者数にかたよりがあった。今後も学校行事やイベント開催日等のリサーチを進め、参加者の増加につなげていきたい。
	・参加者満足度	・参加者の反応は、満足いくものであったか。	90%	95%		事業毎にアンケートをとり、内容の改善に取り組んでいる。参加者の反応は概ね良好な評価をいただき、複数事業で「とても良かった」「良かった」の評価が100%に近かった。	5 5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上 4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・事業の内容については、参加者から「楽しかった」「面白かった」「また参加したい」と好評価の意見がほとんどであった。さらに改善を図っていきたい。
③ 食事の提供								
	・安全な食事の提供	・食事提供の前に検食を行い安全の確認を行なったか。	100%	100%		・食中毒の防止のため、床や厨房の衛生管理を徹底した。また、規定通りの検食を行い安全安心な食事の提供をお願いした。 ・近年増加している食事アレルギーには、十分留意し重度の場合は家族と連絡を取る等の対応を行っている。	5 5…検食の実施率100%、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・利用者に対しては、食事前の手洗いを行うよう徹底する。従業員の意識の向上を図るとともに基本事項を徹底して業務に従事させる。 ・アレルギー対応は、利用者と栄養士の綿密な連絡を進め、利用者に理解を得られるようにしていく。 ・検食の主旨をしっかりと理解した上で検食日誌をつけるよう徹底する。
	・食材の地元調達	・可能な限り地元調達を行ったか。	50%	10%		・魚・肉類や加工品を除く、米、野菜等の食材について、可能な限り地元から調達するよう食堂運営委託業者に依頼しているが、現段階では地元産での調達は厳しそうである。	1 5…食材の地元調達率90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…60%以上、1…60%未満	・今後も、地元食材の調達を増やすようお願いする。
	・利用者意見の反映	・利用者からの要望等に速やかに対応できたか。	90%	80%		・個の食事の量やSDGsに対応するために食事の提供スタイルをビュッフェ方式に変更した。利用者にSDGsの取組を理解してもらい残菜は減った。 ・食事量や調味料に対する要望があり、レストラン会議で伝えた。	4 5…物理的に対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。4…ほとんどの意見・要望に対応した。3…可能な限り対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・利用者からの要望を、内容によりエリアマネージャー・栄養士・店長へ報告し、速やかに改善していくようにしたい。
	・利用者満足度	・利用者の反応は、満足いくものであったか。	90%	87%		アンケートでは、ほとんどが「大変よかった」「よかった」の評価であった。	4 5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上 4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・中学校、高校の団体において低評価が数件あり、食事の量に関するものが多い。食材料費や人件費が高騰している現状から、料金の値上げやメニューの検討を行っていく必要がある。

		評 価 の 観 点	数 値		実 践 事 項	評 価		課 題・改 善 点
			目 標	実 績		評 点	評 価 基 準	
	④利用者の増加	・数値目標を達成できたか	100% 50,000人	86% 42,901人	コロナ禍以降利用者が減少し、目標人数を下げた。リピーターの確保と、各種機関への働きかけを実施した。施設充実を今後の利用者増加へ繋げるようにしている。	3	5…数値目標の達成率100%以上、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・学校の宿泊体験学習で来た児童・生徒への働きかけで、家族や部活での利用につなげていきたい。また、スポーツ団体や企業研修での利用など開拓していきたい。 ・施設・プログラムの充実や近隣施設との連携で利用者増を図っていきたい。
	⑤広報活動	・事業計画書のとおり広報を行ったか。	適	適	・唐津市子育て支援センター、打上校区活性化協議会、唐津市観光協会と連携し、主催行事に協力したり、広報誌に情報提供したりして、相互に広報に努めた。 ・SNSを活用した広報活動を行った。	5	5…事業計画書以上の広報活動を実施した。4…事業計画書のとおり実施した。3…ほとんど事業計画書のとおり実施した。2…あまり実施しなかった。1…ほとんど実施しなかった。	・所報、主催事業ポスターの充実、各関係機関への働きかけ、SNSを活用を一層図る。 ・他施設と連携し、幅広い層の団体に対して広報できるようにしていきたい。
	⑥誘客活動	・小・中学校、高校、大学等を訪問したり、リーフレットの送付したりの誘客活動を行ったか。	延300箇所	延1000箇所以上	・各事業のチラシを県内・糸島市の学校に直接持って行きチラシ配布と参加の要請を行った。 ・所報や利用案内を県内全域と利用の多い福岡県の一部地域に配布した。	5	5…訪問等の箇所300箇所以上、4…200箇所以上、3…100箇所以上、2…100箇所未満、1…未実施	・提案型事業については、事業内容のリニューアルやSNSを活用の活用について工夫するなどして、利用者増につなげていきたい。 ・企業関係者の福利厚生研修やスポーツ団体の合宿など呼びかける。
3、管理経費の縮減								
	・収入の確保	・収入目標の達成に努めたか。	100%	69%	・年間収入目標額(予算)14,365千円に対して、収入額は12,700千円で収入率は88.4%となっている。	3	5…数値目標の達成率100%以上、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	(閑散期の利用者増対策を強化する。) ・日帰りの提案型事業を定期的を実施する。 ・団体(学校を含む)に対し、訪問等により利用を働き掛ける。
	・維持管理費の削減	・維持管理費の縮減に努めたか。	100%	100%	・効率的に対応できるように複数の勤務時間を設定した勤務体制にして、時間外勤務の縮減に努めている。 ・使用していない部屋の消灯やこまめな空調の管理、職員による除草作業や軽易な修繕対応などを行っている。	5	5、4…縮減できた。3、2…あまりできなかった。1…全くできなかった。	・利用者へのサービス低下を招かないよう考慮しながら、業務の改善、効率化を推進し経費の縮減を図る。
4. 施設の管理								
	①職員の指導育成・研修体制	・職員研修は、計画のとおり実施したか。	年12種 年12回	年19種 年31回	これまで、職員の資質向上と指導技術の向上・共有化を目指して、NEAL(全国体験活動指導者認定研修)等の外部研修への参加16回、所内研修15回の研修活動を行った。	5	5…10種類以上、4…8種類以上、3…5種類以上、2…3種類以上、1…3種類未満	引き続き職員の資質向上のため、外部研修への参加や所内での研修を積極的に行う。 さらに、指導員としての資質を高める研修に力を入れたい。
	②職員の地元雇用	・職員等の雇用にあたっては、県内在住者を優先した雇用に努めたか。	100%	100%	・新規採用者4名であったが、すべて県内在住者である。	5	5…100%県内在住、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・これからも県外出身者も含め、全員が県内在住者に努めていきたい
	③県内発注	・清掃等の業務委託や物品調達等の際には、県内業者への発注に努めたか。	100%	100%	清掃や施設設備のメンテナンス、法面除草作業等委託事業で県内に取扱店があるものはすべて県内業者と契約した。	5	5…100%県内業者、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・契約事業所は、できるだけ近隣の業者と契約した。
④安全管理対策・体制								
	・施設設備の安全点検	・施設・設備の点検を定期的に実施し、安全の確保に努めたか。	月1回	月1回以上	・毎月の担当者を割り当て室内と野外の活動エリア内の安全点検を実施し、危険個所の補修や整備等を確実に実施し、危険箇所が発見された場合は、速やかに補修を行った。	5	5…年12回を超えて実施、4…12回、3…6回以上、2…3回以上、1…3回未満	・定期点検の他にも施設設備の使用前と使用後に点検するように努め、所内で共有するようにしている。 ・月担当者からの報告を受け、各施設、設備の担当者が責任を持って最終確認をする。
	・事前打合せの実施	・利用団体の責任者に対し、施設利用の方法や注意事項について十分な説明を行なったか。	100%	100%	・利用団体と丁寧な打合せを実施し、施設の利用について理解を深めてもらうよう努めた。	5	5…100%実施、4…80%以上、3…60%以上、2…40%以上、1…40%未満	・学校関係の事前打合せは来所によりできているが、来所しない小規模団体との打合せは電話により入念に行っていく。特に、料金改定や申請書類の変更等については丁寧に説明する。 ・これからも学校や初めて利用する団体には、できるだけ事前踏査を行うよう依頼していきたい。
	・活動プログラムの指導	・安全かつ効率的な活動ができるよう事前踏査を行なうなど適切な助言・指導をしたか。	100%	100%	・活動プログラムの実施前には、 Cutter、野外炊飯、創作活動、などは指導員が直接指導を行い、他の活動プログラムについても実施前に危険箇所、注意事項等の説明を行っている。	5	5…100%実施、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・所員によるプログラムの説明や定期点検を実施しているが、安全かつ効果的な活動にするために学校関係者以外の団体にも事前踏査を引き続きお願いしていく。
	・活動当日の指導	・入所時にオリエンテーションを実施し、施設の利用案内、注意事項等を記載したチラシを配布し説明を行うとともに、活動の前には機器操作等の説明は、十分に行ったか。	100%	100%	・入所時のオリエンテーションには十分に時間をかけ遺漏がないように努めた。プログラム実施については、Cutter、野外炊飯、クラフトでは指導員が直接指導を行い、野外活動では、指導員による説明を実施した。 ・特に要望の多い、キャンプファイヤーやキャンドルのつどいでは、団体の希望により準備、展開、後片付けまでの指導・助言を行った。 ・特別に配慮を要する児童・生徒の情報を事前に学校から聞き取り指導に活かしている。	5	5…100%実施、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・引き続き、利用者の利便を考えた指導に努めたい。 ・言葉による指導だけでなく、ポスター等により視覚化し利用者の自主・自立の力を高めたい。 ・各プログラムにおいて、事前に研修できるように活動のポイントや注意事項等をまとめた映像を作成し、活動の充実と当日の活動時間の確保を行っていきたい。

		評 価 の 観 点		数 値		実 践 事 項		評 価 基 準		課 題 ・ 改 善 点	
				目標	実績			評点			
総合評価	⑤事故及び災害時の対応体制										
	・消防防災訓練等の実施	・消防防災訓練を年1回以上実施したか。	2回	2回	・年2回以上は、消防訓練、救急救命訓練、通報訓練を行い緊急時に対応できるよう職員の研修を実施している。		5	5…年2回以上実施、4…年1回実施、1…未実施		・緊急時に備え、改めてマニュアルに沿った実効性のある体制を整えたい。	
	・防火組織及び防災組織の編成	・防火組織及び防災組織を編成するなどの非常事態への対応は万全か。	有	有	・防火、防災組織を編成し、非常事態に備えている。		5	5…編成している。1…編成していない。		・日ごろから有事に対応できるように職員の能力を高めておきたい。	
	・救命・救急講習の実施	・救命講習会を実施し、すべての職員が救命技能を有するものとしての認定書の交付受けたか。	14人	14人	・消防訓練時に応急処置等の講習を全員参加で実施した。AED研修については、隔年の実施としている。		5	5…AED研修受講100%、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満		・現在の全職員が、AEDの利活用ができるようにしている。	
	・気象情報等の伝達	・利用団体に気象情報や熱中症等の情報を的確に伝えたか。	良	良	・気象状況を把握し、提示板を設置して利用団体に情報を確実に伝え、事故がないように注意を喚起した。光化学オキシダントやPM2. 5、感染症対策等もつどいや活動説明時に情報伝達を行った。		5	5…情報を把握し的確に伝えている。 4…ほとんど伝えている。 3…ある程度伝えている。2…あまり伝えていない。1…全く伝えていない。		・気象の急激な変化が予想される場合は、こまめに情報をチェックし、利用者に情報提供する。 ・カッター活動における海の情報は、ネットの情報と現場の状況が違う時があるので、目視確認と現場担当カッター指導員との連絡を密にし実施の有無を判断する。	
	・職員研修	・安全管理マニュアル等を整備し、職員への周知を図ったか。	適	適	・職員の業務遂行マニュアルとして、「危機管理対応」「火災報知器作動時の行動」「傷病者発症時の対応」「情報セキュリティ」「苦情等に関する対応」「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」のそれぞれのマニュアル書を作成し、全職員での研修を実施している。		5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。		・引き続き全職員を対象に、「接遇研修」「各マニュアル」の遵守の研修を行い、周知徹底を図る。	
	⑥苦情等に対する対応	・利用者等からの苦情等に対応するためのマニュアル等体制は整備されているか。	有	有	・マニュアルをもとに、職員会議で研修を行い対応を周知した。 ・アンケート等で出てきた苦情については、利用団体に聞き取りを行って週ごとの活動プログラムの中でも文書で全職員に対応策を共有できるようにした。 ・指導班会議の中で事例研究を行い、職員の意識を高めた。		5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。		・機会を逃すことがないように、朝会、指導員会議、SNSを活用するなどして、苦情や要望についての対処方法を共有する。	
⑦個人情報の保護	・個人情報保護に関する規定を制定するとともに職員に対する研修を実施したか。	2回	2回	・個人情報を記載している文章等の取扱いの重要性を認識し、外部への持ち出し禁止や保管には万全を期している。 ・個人情報保護について年度当初と3月に研修を行い、規定の遵守を周知した。		5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。		・引き続き、研修を実施し職員に対して個人情報保護規定の遵守の徹底を図る。		
総 合 評 価	・管理運営の基本方針に基づいた適切な運営ができたか。	波戸岬少年自然の家の設置目的の達成のため、利用者のニーズを尊重し、親しまれ、喜んでもらえる施設を目指して安全かつ効率的な管理運営に努めた。概ね良好な運営ができたと評価する。 ①海洋型の波戸岬少年自然の家周辺の恵まれた自然や歴史的遺産を有する環境のなかでの本施設の特徴を生かしたカッター研修を中核として、利用者にさまざまな野外活動、自然観察、クラフトなど、利用者の研修目的に対応したプログラムを準備し、効果的な成果が得られるよう支援活動を行った。また、主催事業8、提案型事業4を計画し、各年齢層に応じた自然体験活動を工夫し提供した。 ②利用者の意見を反映した管理運営を図るために、利用者団体にアンケートを実施し、本施設に対する意見や要望を聞き、可能な限り改善を行い、利用者のニーズを尊重した管理運営を行った。カッター活動のアンケートでは、活動の状況把握し指導の充実に取り組んだ。 ③個人情報保護の重要性に対する職員の意識の徹底のために情報セキュリティ研修、危機管理マニュアルをもとに、時期に応じた危機管理に関する研修を実施した。また、わかりやすい説明を実践するための所内研修、専門機関が実施する研修へ派遣するなど職員の資質向上に努めた。 ④安全かつ効率的な運営を図るために、利用団体に対し、事前打合せや事前踏査をお願いし、安心して利用していただけるように配慮した。また、毎月定期点検を行い、室内外施設及びフィールドの安全の確認や整備を行った。カッター研修に関しては、安全に関する研修を行い意識の高揚に努めた。 ⑤管理運営経費の縮減を図るために職員のコスト意識を高めるとともに、利用者の理解と協力を得て、空調機器のこまめな調整等光熱費及び燃料費の縮減に努めた。また、SDGsの活動として7つのゴールに取り組むことを利用者に提案する中で、節電・節水・フードロス減に協力してもらっている。 ⑥地元地域との連携を図るために、打上活性化協議会が実施する行事に参加協力したり、農産物収穫を、主催事業に取り入れるなど積極的に連携を図った。また、「佐賀県立名護屋城博物館」「玄海エネルギーパーク」「玄海町次世代エネルギーパーク」「鯨組主 中尾家屋敷」を含め「五施設連絡会議」を開催し、利用者増のための相互協力などについて意見交換を実施している。					・予約システムやメールワイズの活用を促進し、業務の効率化を図っていきたい。 ・過去の利用団体(学校含む)で、今年度次年度の利用予定のない団体を抽出し、広報誌配布などの広報活動を行う。 ・閑散期は、スポーツ団体、高校部活動、大学サークルの利用者が増える傾向にある。また、中学生バレーボール大会や高齢者向けのグランドゴルフを企画し多くの方に参加していただいた。今後は、一般の観光客や企業研修の誘客にも力を入れたい。 ・少年自然の家の設置理念に添った管理運営を維持するためには人材の育成が重要である。指導員の確保と資質の向上が課題であり、1年単位の雇用の実態を考慮すると資質の維持には相当な努力を要する。所内外の研修に計画的に派遣するなど資質の向上と維持を図る。 ・経費の縮減については、郵送からネットへの移行も含め利用者へのサービスができるだけ低下しないように配慮し、引き続き努力する。また、TVやラジオ等のインフォメーションも積極的に活用していきたい。 ・個人情報保護、情報セキュリティ、危機管理に関する研修は引き続き確実に行っていく。 ・「障害者差別解消法」の主旨を反映させ「対応指針」を作成したので、職員への共通理解を徹底したい。また、ミライロIDにも対応したりしてさらに障害者にやさしい施設作りを目指す。				
	評価委員評価	【山崎委員】 ■佐賀県だけでなく福岡県からの利用もあると聞いている。 ①県内外の施設とのネットワークを一層拡大しながら運営していただきたい。 ②職員一同様が「働き甲斐のある職場づくり」に臨んでいただきたい。 ③世界ブランニングプラスチェックセンターとの連携や他団体との運動事業を期待している。 【青木委員】 ○社会のニーズを踏まえた改革を。 ・佐賀県では児童・生徒数の減少に伴い、学校数も年々減っている。そのような状況の中このままの状態では利用者数を増やすことは難しい。利用対象者を県外に広げる。また、年齢層を児童生徒から一般・高齢者まで対象を広げる必要がある。『少年自然の家』の『少年』を削除してはどうかと思う。 ・キャンプなどアウトドアスポーツの需要が増えてきている今、今までの施設の利用形態を大幅に変えてはいかかかと思う。テント泊ができる場所・車中泊ができる場所などではないかと思う。既存の利用形態を見直すチャンスだと思う。 ・主催事業(提案型)も学校関係はともかく、他の年齢層が参加できる事業を考えてほしい。そして、その年齢層に届く広報のやり方。 ・周辺の社会教育施設・スポーツ施設や地域の行事と連携した事業を期待する。 【坂本委員】 ・定期的に近隣施設との情報交換会が行われているようですが、一緒に何かやるようなものがあるのでしょうか。 ・海、名護屋城址など県外から来られる方々にとって、魅力いっぱいの地域であるのに活かされていないように感じます。 ・何年か前には魚釣りのプログラムもあったようですが、今はないのでしょうか。 ・昨年11月に名護屋城址で開催された大茶会では、歴史好きの方々がたくさん集まっておられて、天守閣は大盛況でした。近くに陣跡通りもありますし、博物館の学芸員を講師にお話ししてもらうプログラムなどもあると思います。					○連携…県内3施設相互の人材派遣は、職員の資質向上にも役立っている。また、呼子・鎮西・玄海地区の施設や団体とは連携を一層密にし、利用者の交流を図り、地区全体の魅力度アップにつなげていきたい。 ○職場づくり…コンサルティングを導入し、より効率的な業務改善と風通しの良い職場環境づくりを継続して行っていきたい。 ○利用者増に向けて…学校への働きかけに加え、スポーツ団体や県内外の企業へ誘客活動を行っていく。また、素泊まり客の受け入れも検討する。 ○新しいプログラム…より幅広い層に施設を利用してもらうために、キャンプ・サイクリング・海洋スポーツ等、施設のポテンシャルを最大限発揮できるような取組を行っていきたい。 ○魅力ある事業…事業を精選し、利用者の満足度を高める内容にしていきたい。また、SNSの活用を進めより幅広い世代に広報できるようにしていきたい。				